



地域と学校をつなぐ!!

春校だより

2月号

令和7年2月20日

静岡県立天竜高等学校春野校舎

◇ 副校長あいさつ ◇

上山 万里子

令和7年1月6日、春野校舎の生命線の1つである袋井 - 気多間全線の秋葉バスサービスの運転が再開され、翌日の3学期の始業式を生徒、保護者、そして私たち教職員は例年とは異なる特別な気持ちで迎えました。令和5年6月の記録的な豪雨をもたらした台風10号の被害の復旧工事のため秋葉バスが運休となり、約1年7か月の間、袋井方面からの生徒たちの多くは西鹿島経由等で登下校をしていました。現在の春野校舎には、袋井・森方面から約30人が通学しています。通学の時間が増えたのはもちろんですが、複数の交通機関を使用することによる経済的な負担もありました。また、生徒の登下校の所要時間が延びたため、学校では始業時間を繰り下げ、普段よりも約1時間短い臨時日課により対応してきましたが、教育活動の取組自体は変わることがないように丁寧な指導を心掛けてまいりました。おそらく生徒たちは延びた登下校時間や先の見えない臨時日課の継続に不安を抱えていたかと思いますが、音を上げることなく、部活動や学習に力を注いできた1年7か月でした。

通常の日課に戻り、改めて秋葉バスサービスの皆様には再開に向けてご尽力いただき、そして、地域の皆様には温かく見守りお気遣いいただきましたことを、ここに感謝申し上げます。今後も、春野町の豊かな自然と温かな人々との関わり合いを大切に、学校教育を進めてまいりたいと思います。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

◇ 春野を知り、春野に学ぶ TEN GOOD PROJECT・栗崎園・山ちゃんファーム（来校順） ◇

1月10日（金）1月24日（金） 1年生

総合的な探究の時間に、上記3団体から講師にお越しいただきました。それぞれの専門分野について講演をいただき、インターネットで調べても見つからない、深い話を聞くことができました。春野町の魅力を再発見することができ、春野への理解が広がりました。講師の紹介については、山里いきいき隊の中谷さん、春野みちくさだよりを発行していらっしゃる『みるいら』さんに協力いただきました。ありがとうございました。



それぞれ本業もありながら、短い期間で色々な活動をしており、探究活動のお手本だと思った。春野の野菜以外にも、技能実習生などの関係人口で成り立っており、使えるものをすべて活用していることが分かった。（11HR 鈴木伸弥）



やっている人にしか分からないことが多いと思いました。春野では虫が野菜を食べってしまうことに加え、動物までもが来ることは大変だと思いました。

（11HR 岡本和）



強み以上に悩み（弱み）が多く大変だなと思いました。そして春野の魅力をたくさん見つけたり、お茶を好きになって興味を持ったりしたいなと思いました。

（11HR 澤元佑太郎）

◇ 春野の魅力を結びました おむすび販売 ◇

1月26日（日）

本校の1年生が、放課後の活動の中で春野の食材を使ったおむすびレシピを作成し、二俣町にある『森のマルシェきこころ』にて、販売させていただきました。



地域の食材を使いおいしいおむすびを考えて作り、それを一般のお客様に販売をして、春野町の魅力を届けることができとても良い時間でした。またこういう機会があるといいなと思いました。（11HR 工藤群）



← 本校生徒 工藤作成

◇ 春野中学校と百人一首で交流しました ◇

1月30日（木） 1年生

今年も本校1年生が、春野中学校の1年生と百人一首の好きな歌を紹介し合いました。会話はそれぞれの学校生活にも及び、楽しみながら日本の文化を学ぶことができました。

初めて春野中学校の人たちと会いましたが、みんな雰囲気良くて楽しかったです。ただ発表のときはとても緊張しました。（11HR 澤元佑太郎）



春中生との交流は始まるまでは緊張していましたが、いざ始まると見かけたことがある顔だったり、話したことのある人だったりして思ったよりも緊張しませんでした。春中の先生と生徒ならではのりもあって、懐かしくて楽しかったです。ただ、授業終わりに次の授業で焦って、仲の良い子たちや先生方とちゃんと話せなかったことをとても後悔しています。（11HR 松山優月）

内容についてのお問い合わせは、

☎053-985-0306 天竜高校春野校舎内 総務・図書課 までお願いします。

※カラー版「春校だより」は天竜高校春野校舎 HP で！

天竜春野校舎

検索



☎ スマホの方はこちらからもアクセスできます